

新播磨町地球温暖化防止率先実行計画 (抜粋)

新播磨町地球温暖化防止率先実行計画を実行します

播磨町では、新播磨町地球温暖化防止率先実行計画を実行します。町の事務や事業から排出される温室効果ガスの排出量を抑制することにより、事業者や住民の皆さんにも地球温暖化防止に向けた自主的な取り組みを促進していただけることを期待するものです。

▼問合せ すこやか環境グループ ☎079(435)2721



●計画の期間
本実行計画の期間は平成23年度から平成27年度までの5カ年です。

●計画の目標

温室効果ガス総排出量の削減目標を「平成21年度を基準に平成27年度までに6%以上の削減とし、年間総排出量を6,914t-CO₂以下とする」と定めました。

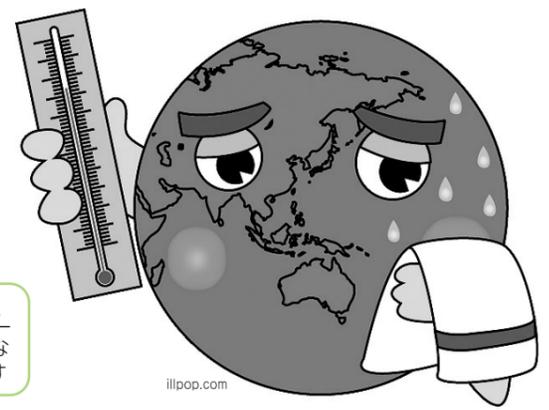
紙ごみ排出量の削減目標を「紙ごみゼロエミッションを目指します。(紙ごみ100%回収と再生利用の推進)」と定めました。

- ※二酸化炭素の単位「t-CO₂」(二酸化炭素トン)
また、主な施設ごとの温室効果ガス排出量については、おおむね次の通り抑制することにより、削減目標を達成します。
- 具体的な削減方法予定**
- ① 役場庁舎空調設備改修にて、灯油暖房から電気暖房への変更により削減する
 - ② 健康いきいきセンター給湯設備改修にて、使用燃料をA重油からガスへの変更により削減する
 - ③ ごみの減量とペットボトルなどの資源ごみ分別回収の推進により、ごみ焼却量を削減する
 - ④ 小・中学校に太陽光発電設備の導入にて電力使用量を削減する
 - ⑤ 浄水場の照明機器の改修にて、電力使用量を削減する

主な施設ごとの温室効果ガス排出量

| 施設 | 基準年 (平成21年度) | 目標年度 (平成25年度) | 増減 |
|------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 役場庁舎 | 237 t-CO ₂ | 205 t-CO ₂ | △ 32 t-CO ₂ |
| 健康いきいきセンター | 505 t-CO ₂ | 425 t-CO ₂ | △ 80 t-CO ₂ |
| 塵芥処理センター | 4,870 t-CO ₂ | 4,586 t-CO ₂ | △ 284 t-CO ₂ |
| 学校施設 | 306 t-CO ₂ | 266 t-CO ₂ | △ 40 t-CO ₂ |
| 浄水場 | 700 t-CO ₂ | 694 t-CO ₂ | △ 6 t-CO ₂ |
| その他 | 738 t-CO ₂ | 738 t-CO ₂ | 0 t-CO ₂ |
| 合計 | 7,356 t-CO ₂ | 6,914 t-CO ₂ | △ 442 t-CO ₂ |

地球の温暖化が進むと...



食糧不足
今まで作物が取れたところでも作物ができなくなり、食べ物が不足します



野生動物が絶滅の危機に
気候が変わって植物が育たなくなり、動物も暮らしづらくなります

病気が増える
マラリア、黄熱病、コレラなど暖かい地方の病気にかかる人が多くなります



陸地が海に沈む
グリーンランドや南極の氷床が溶け出して水面が高くなり、低い土地や島が海に沈みます

異常気象が多発する可能性
砂漠化、異常高温、干ばつ、洪水などが世界中でたくさん起こるだろうと考えられています

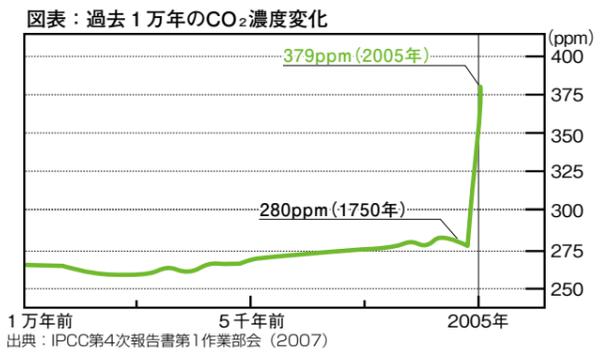


止めよう！地球温暖化！

今、地球で様々な環境問題が起こっています。その一つである地球温暖化の現状は、一般に知られているよりはるかに深刻です。地球温暖化とは、二酸化炭素などの温室効果ガスが大気中に増えることにより地球の平均気温が上昇する現象です。少しでも資源やエネルギー消費を減らすことにより、温暖化の進行を食い止め、子どもたちに暮らしやすい地球を残したいものです。

地球温暖化による気温の上昇

このたび、播磨町では公共施設から排出される温室効果ガスを減らすための削減計画



50年前に比べ、地球全体の平均気温はわずか0.5℃しか暑くなっていないのですが、皆さまご存じの通り、いろいろな異常が起こっています。温暖化の原因となっている二酸化炭素濃度は、18世紀後半の産業革命以後急激に上昇しています。国連機関の最終報告では、今後100年後には最大5.8℃の気温上昇が予測されています。そうなると私たちの生活はいつたいていどうなってしまうのでしょうか。